

理美容業界のDX化を支援する(株)サインドは、2021年東証マザーズに上場した。年々拡大する事業規模と従業員増加により今回で3度目の移転となる。2011年シェアオフィスの一室から始まり、2017年、2020年と移転を重ね、昨年2024年11月25日に五反田JPビルディングにオフィスを構えた。オフィスは1フロア 面積792.4㎡。



同社は『BeautyMerit』という複数の美容予約サイトを一元管理するサービスを展開している。理美容業界では電話予約や紙での管理が根強く残る。コロナをきっかけにオンライン予約が普及したが、複数の予約サイトを利用する店舗では、各システム間のスケジュール管理に課題が残る。例えば、1つの予約サイトでは埋まっている枠が、別のサイトでは空き枠として表示されるケースもあり、ダブルブッキングを防ぐために手動で管理せざるを得ない現状がある。

さらに店舗ごとの細かな要望に対応する必要があり、営業担当が店舗ごとに詳細な聞き取りを行う。店舗によって活用方法が異なることから、営業担当は他部署のメンバーとも密な連携が不可欠であり、顔を合わせたコミュニケーションが求められる。出

社率は8~9割で、開発部のみ週1回のリモートワークを実施。営業部は全日出社制となっている。

対面コミュニケーションを重視する同社は、オフィスの価値を高く評価し、移転プロジェクトでもさまざまな工夫を施した。今回は取締役 亀井信吾氏、管理部経営企画担当リーダー 諏訪部瞳氏、管理部経理担当 霜村柚花氏に話を伺った。

「ミッションである『インターネットを通じて心のつながりを提供する』をデザインに反映した。当初は美容業界らしく女性的でサロンのような柔らかさをイメージしていたが、CYNDという社名の由来でもあるインターネットを意味する「CYBER」のつめたさと心を意味する「MIND」の温かさの融合を意識し、モルタル調の壁と木目を多用することでバランスを取る方針に変更した。最も苦労したのは営業、開発、管理部門を1フロアに同居させるレイアウト構成。オフィスらしさが出すぎないように、多目的で使えるエリアやカフェスペースを設けて、出社がしたくなるような空間づくりを重視した」と語る。また、各会議室には透明な椅子が置かれており、サインドの成長に大きな影響を与えた2社のサロンの理念「透明」「空気」を象徴する。透明な空気のように美容業界のインフラであろうとする企業理念を常に中心に据え、日々の業務の在り方を思い返すためのモニュメントとして存在している。

アロマの香る入口を抜けると、天井を一直線に走るライン照明が目映える。オフィスのコンセプトで



ある「つながり」を表現した照明は、グループ会社と同社を一本の線で結ぶデザインとなっている。エントランスは小鳥のさえずりが響き、廊下に面した会議室にサウンドマスキングを施している。執務エリアは仕切りのないワンフロアで大きく4つのエリアに分かれる。外周を取り巻く個室ブース、窓際に置かれたブラウジングチェアと上下昇降デスク、部門ごとに分かれたワークスペース、中央のフリーアドレスの円卓とユーティリティスペース。その奥に3割ほどの面積を割いたマルチパーパスエリアがあり、バーカウンターを望むひな壇、中央にはラウンジチェアとソファが並んでいる。

「以前のオフィスでは壁面に沿ったカウンターに横並びになって話すことができたが、会話はそれほど生まれなかった。バーカウンターでは机をはさんだほどよい距離感で対面して話せるため、目に見えて会話が增进了。什器の選定による影響の大きさに驚いた」と話す。

出社人数70人に対して3~4人分ほどしかなかった休憩スペースを10倍の規模に拡大。「通路が狭く人口密度が高い。空調機材の機能悪化で空気が淀んでいる」という前オフィスの課題を改善。天井の高さは2000mmから2800mmに変更し圧迫感を軽減。ワークスペースの机の幅は1000mmから1200mmに広げ、生産性の向上を図った。さらに、Web会議の妨げとなっていた隣室からの音漏れを防ぐため、壁の厚み



やドアの密閉度を改善した。ワークスタイルは完全固定席から管理部門のみ固定席にしたグループアドレスへ移行。荷物の片付けが必要になるため賛否両論あったが、好きな席に座れる自由度や垣根を超えたコミュニケーション活性化のメリットが大きかった。満足度調査では、85%の社員が「満足している」と回答。中央に設けたフリーアドレス席では経営トップが常に座っており、話しかけやすい雰囲気が醸成されている。

マルチパーパスエリアでは新卒採用の説明会を実施し、実際のオフィスの雰囲気を感じてもらっている。他社とのオンラインセミナーや、産業医を招いたメンタルヘルスの研修にも活用。また、新入社員の歓迎ランチ会や業務終了後のゲーム大会・スポーツ観戦にも使用されている。このような社内イベントは、以前は会議室で行っていたが、現在は30~40人が集まることができるスペースになった。今後はより活用を広げていく方針。